

高精度放射線治療棟の竣工式について

～最新治療機器2種の同時導入による西三河地域のがん診療体制強化～

安城更生病院（病院長 度会正人）は、これから増加していく地域のがん治療需要に応えるため、2021年6月に最新の高精度放射線治療機器「サイバーナイフ」と「ラディザクト（最新トモセラピー）」の2台を導入した新施設・高精度放射線治療棟を開設いたします。つきましては、当施設の竣工式を以下の日程で執り行います。

【開催日】 2021年4月22日（水）午前10時～11時30分

【場所】 安城更生病院 高精度放射線治療棟 2階

【式典概要】 神事・直会 午前10時～11時

施設見学 午前11時～11時30分

【参加者】 安城市長 神谷学 氏、JA愛知厚生連 経営管理委員会会長 長谷川浩敏、
安城更生病院 院長 度会正人 他33名

高精度放射線治療棟施設概要



より強固ながん治療体制を整えるために、2台の最新機器を導入します。**腫瘍の周りにおける正常細胞への影響を最小限に抑えることで、患者さんへの負担を少なくしたがん治療が可能となり、他病院に協力を求めている疾患も当院で治療を完結することができます。**



<本件に対する問い合わせ>

JA愛知厚生連 安城更生病院 企画室 細野（ほその）・鳥山（とりやま）

TEL：0566-75-2111（代表）FAX：0566-76-4335

E-mail：kikaku@kosei.anjo.aichi.jp

取材等、ご興味ありましたら、4月21日17時までに、上記問い合わせ先にご連絡ください。

<背景>

J A愛知厚生連安城更生病院は、1935（昭和10）年に設立されて以来、86年にわたり地域の医療を支えています。現在では、安城市の市民病院的役割と西三河南部地域の高度医療を提供する中核病院、さらには優れた医療人を育成する教育病院としての責務を果たしています。

当地域は、2040年頃までの人口増加に伴い、医療需要が大きく伸び続ける反面、それを支える医療資源が非常に少ない地域となっています。今後、地域医療を守り続けるために、地域内の医療機関が役割を分担し、限られた資源を有効活用する仕組みの構築が求められています。こうした背景のもと、西三河南部地域の基幹病院である当院では高度医療のさらなるグレードアップを図るべく、新施設の建築と既存施設の改修を中心とした「発展的再構築」というプロジェクトを進めています。

その第1弾として2021年6月に高精度放射線治療棟を開設します。また2021年12月頃には、がん医療をはじめとする高度急性期医療および、健診機能を充実させるため、6階建てとなる新棟を開設し2022年6月には既存棟の各機能を大幅に見直します。これらのプロジェクトを軸に高度医療・急性期医療を中心として機能をさらに高め、今後も安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。



2022年に完了予定の発展的再構築



2021年完成予定の新棟



新棟に入る予防医療センター
(女性フロア完備等、利便性の向上)

<安城更生病院 概要>

病院長：度会正人

病床数：749床

住 所：愛知県安城市安城町東広畔 28 番地

開設日：昭和 10 年 3 月 5 日

診療科：全 36 科

主な各種指定：

地域医療支援病院、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、

地域中核災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院 など